

写真／①、④～⑦柳野治示氏、②・③山崎武雄氏



①

ふるさと 鬼北の風景 No.9

人と人をつなぐ回覧板

町からのお知らせの文書や広報などは常会や回覧板で組長さんから組内に配られています。この回覧板は、昭和14年に全国一斉に始められた「隣組（互助・自警・配給などのためにつくられた隣数軒を1単位とする組織）」で実施されていたものの名残とされています。地域間のふれあいや人のつながりが希薄になりつつある昨今においては、地域活動はもちろんのこと、回覧板を隣近所へ渡すことも地域の結束、交流に重要な役割を果たしています。



②



③

花とび踊り

毎年旧暦の1月16日に、父野川の富母里地区で催される花とび踊り。由来は定かではありませんが、三間地方の花踊りと類似しており、戦国時代に長曾我部元親が宇和郡を侵略したころ、土佐の太刀踊りが転化し、この地方に伝わったものと思われます。伝説によると、戦国のころ、高貴な身分の落人が難産のため苦しんでいるのを救うため、長宗我部の武士たちと地元の農民が花とび踊りを踊り、節安のお薬師様に安産を祈願したとされています。今年も2月24日に、節安花とび踊り保存会（井谷和隆会長、15人）の会員が太刀を振るいながら勇壮な踊りを披露しました。

御開山

下大野地区の最も奥に位置する御開山集落は、終戦後の昭和21年ごろから開拓が始まり、酪農や葉たばこ、大根の栽培が盛んに行われました。写真は、④御開山全景、⑤軒下に並べた干し芋、⑥養蜂。



④



⑤



⑥



⑦

梅と栗

小倉地区で撮影された珍しい1枚。近くの木から落果したものが梅の枝に引っかかったようですが、梅の木に栗がなったように見えます。

* 風景や伝統行事など町内の写真を募集しています。

総務課行政・地域安全係（内線235）に写真（デジタルカメラの場合はデータ）をお送りください。